



小中一貫教育だより

平成29年2月28日 No.35
(小中一貫教育推進だよりから 通算No.69)
十日町市教育委員会学校教育課



目的と成果

小中一貫教育係嘱託指導主事 丸山公一

私が今乗っている車は、購入21か月で走行距離が5万8000 kmになりました。年に換算すると約3万3000 kmです。職業ドライバーでなければ、年1万 kmが一般と言われていることからするとやや多いかも知れませんが、その走りの内容が昔と変わってきたように思います。

数十年前は、目的（目的地）を考えずに一人で走ることができたように思います。もちろんある程度の目的地の方向が無ければ運転できませんが、そこに行くと美しい景色に感動する、食を堪能する、人との触れ合いを楽しむというねらいは全くありませんでした。知らない道を自由に走ることだけが楽しかったように思います。したがって600 km走って帰ってくると疲れだけが残りました。その土地の歴史や文化などの知識や経験の蓄積はほとんどありませんでした。経費（ガソリン代、その他）がかさむだけでした。

しかし、年をとるにつれそういう行動ができなくなってきました。「今日は晴れていて気持ちがいいので、意味もなくドライブしてこない？」と言っても家族はついてきません。

目的地がはっきりし、そこで体験や経験をしたいことが明確で、道中も楽しい会話で車内が満たされ、目的地を楽しみ、満足感を得てお土産でも買って来ると、ある意味成就感、達成感を得ることができるでしょう。そういう時は、200 km、300 km、あるいは数百 km走ったとしても疲労感は少ないのではないのでしょうか。

私たちの取り組む教育活動（小中一貫教育）の推進も同じではないのでしょうか。育てたい子どもの姿が明確で、そのための方法がしっかり話し合われ、取り組む組織が主体的で活性化されていれば、その過程が大変であっても楽しく取り組むことができるのではないのでしょうか。

限りある時間、それにかかる費用、労力を無意味に使うことは徒労に終わるし、効率的、効果的に進めることが肝要で、そして目に見える成果があがらなければ、評価し改善していかねばなりません。

しかし、私は、意味も成果もなく（自分にとっては意味があるが、結果も成果も無いということ）600 km走ることが、全く無駄だったとは思いません。そうできたことが楽しかったと思います。

学力向上をめざし、目の前の子どもたちに対して一生懸命授業をした。しかし目立って数値が向上しなかった。そのような“費用対効果”が無いところを“社会”は評価してくれません。でも、「問題をいろいろな考えを使って解くのがおもしろかった。」「友達と一緒に考えて楽しかった」「難しかったけど、がんばったら解けてうれしかった」とつぶやく子どももいます。たとえ、すぐに結果が出ず成果が上がらなくても、子どもたちの明るい未来に必ずや繋がるのではないのでしょうか。

小中一貫教育係嘱託指導主事として全ての小中学校に訪問させていただき、児童生徒の明るく朗らかな笑顔をたくさん見ることができました。教職員の皆様の日々のたゆまぬ取組に感謝いたします。

■統括コーディネーターとして

平成28年度の各中学校区の小中一貫教育を誠意推進してくださいました統括コーディネーター（あるいは校内コーディネーター）の皆様から、1年を振り返っての成果や課題を語っていただきました。

今号は、川西、水沢、拡大、下条の4中学校区、次回の3月号は南、吉田、中里、松代、松之山の5中学校区を掲載いたします。

川西地域の特色を探して

川西中学校区統括コーディネーター 加藤雪子



川西地域は小中一貫の取組を始めて、6年が終わろうとしています。今年度、統括コーディネーターをさせていただくこととなり、各活動の取組や評価をまとめていく中で、「地域学習と融合させたキャリア教育の充実」の必要性を実感しました。小中学校のつながりだけでなく「地域を愛し、自立して社会に生きる子ども」の育成に向け、まずは、私たち教職員が、もっと広い視野に立って教育に当たらなければならないと痛感したのです。

そこで、私は「川西地域」についてもっと知りたいと思い、夏休みに川西地域に関するデータを集め分析してみたり、合併した当初の十日町市の市勢要覧を読んだりしました。今まで、ほぼ「無」だった川西地域の情報が私の中に入ってきました。そして、「もっと知りたい、川西地域の魅力を多くの人に伝えたい。」と思うようになりました。

現在の子どもたちは、この疲弊した地球環境の中で、将来への希望が見いだせず、目先のことだけに心を奪われてさまよっているように感じます。そこに光をさすのが教職員の使命。まず、子どもたちの足元である地域に光を当てる、そして、心に希望の光をとす、そのために自分には何ができるのかを考えて取り組んでいきたいと思えます。



生徒が主体的に進める小中交流活動～社会性育成を目指して～

水沢中学校区小中一貫教育コーディネーター 阿部 勝良



水沢中学校区では、児童・生徒の社会性を育成するために、小中連携して様々な交流活動に取り組みました。3つ紹介します。

一つ目は、「小中P（PTA）あいさつ交流」です。児童会・生徒会のリーダーが集まり、昨年度までの問題点を出し合い、活動目標やスローガン、取組方法を協議した上で交流を行いました。参加した保護者からは、「日に日にあいさつが向上するのが感じられた」という声が聞かれました。交流後には振り返りの集会を開き、活動の様子を記録した動画を見て、次年度への改善案を検討しました。

二つ目は、「いじめ見逃しゼロスクール集会～絆交流～」です。11月、小学校5・6年生を招き、中学校3年生と一緒に「いじめ見逃しゼロスクール集会～絆交流～」を開催しました。いじめを未然に防ぐ力を高めるため、中学生が考えた「ノーいじめ劇」を見てどうすればよいのか考えるとともに、グループに分かれて「ロールプレイ」をしました。参加した児童・生徒からは、いじめを生まないためには「相手のことを考えた言動を心がけることが大切」という意見が出されました。

三つ目は、「交流活動の可視化の取組」です。交流活動が児童・生徒にしっかりと意識できるように、活動スローガンや活動の記録をポスターにして校内に掲示しました。こうした工夫で、一人一人が高い意識をもって取り組むことができました。

来年度も、社会性育成を主眼において小中交流活動を展開していきます。



知は力なり・継続は力なり・信は力なり



～ゆるやかな連携のもとで～

拡大中学校区統括コーディネーター 野村 淳

十日町中・中条中拡大中学校区では、この3年間、より効果的な取組を目指して小中一貫教育を推進してきました。そして、今年度、学力向上部会（幹事校：十日町小）、体力・健康づくり部会（幹事校：東小）のまとめにより、3年間続けてきた取組を通して、児童・生徒のプラスの変容を見ることができました。私たち教職員にとっても、小中一貫教育を進めるうえで大きな励みになるのではないかと思います。うれしく感じました。

まず、学力向上部会が中心となって行ってきた「家庭学習の習慣化」です。「宿題以外にも自主的に他の学習に取り組んだか」「テレビなどを消し、集中して学習に取り組んだか」という2項目について、保護者アンケートの結果から3年間の成果を見てきました。顕著だったのは、どちらも肯定評価が増加したことです。また、小中が一貫して継続的に取り組むことによって、小学校から中学校へ進学する際の意欲による伸び、中3へ進級する際の卒業や進学を意識することによる伸びが期待できるということが分かりました。

次に、体力・健康づくり部会が中心となって行ってきた「元気生活1・2・3」運動によって、「メディア2時間以内」が児童・生徒や家庭に浸透したことです。3年前は達成率64%でしたが、今年度は81%となり、3年間の取組で大きな向上が見られました。

児童・生徒の成長や可能性を信じ、そのために研修を重ねながら、継続した活動に粘り強く取り組んでいくことが、ゆるやかですが確実な力になると考えています。今後も、拡大中学校区6校の連携を進めていきたいと思えます。

気付き、考え、行動する子供

下条中学校区統括コーディネーター 小林 淳司



当中学校区は、校舎一体型の特殊な環境も手伝って、小中学生の融和的なつながりを大切にしながら、下条が目指す子どもの姿を「気付き、考え、行動する子ども」の育成に向けて、これまでに実績を積み上げてきています。

1 「学力向上」に伴う活動について

小中連携による9年間の学びを意識した授業改善を進めています。これまでの実践が功を奏し、児童と生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるようになってきました。今後は、「学び合う」ことで、より考えを深めるためにも、児童と生徒が安心して考えを伝え合える学習環境づくり（アクティブラーニングを追求した授業への転換）の充実を図ります。

2 「人間関係作り」に伴う活動について

今年度も、活動の質を高めるため、児童生徒の発達段階を踏まえた交流学年を設定し縦割り班による活動を実施しました。活動のねらいを焦点化し、指導を工夫したことにより、児童生徒の主体的な関わりが増し、活動の充実が図られました。



【中3-小1・2】

【中2-小3・4】

【中1-小5・6】

3 今後の方向

これまでの取組を検証し、継続する取組を精選するとともに、既存の教育活動を生かした活動内容を検討していく必要があります。特に、9年間を見通した「心の教育計画」「キャリア教育計画」について、より実効性のあるものとするため、計画に修正を加えていき、確実に実践していきます。小中学校の全教職員がそれぞれの立場で、互いの「学校課題」の克服に向けて連携を深め、平成29年度の活動を推進していきます。

■トピックス 『下条小・中合同避難訓練』

2月15日(水)下条小学校、下条中学校で小中合同の火災避難訓練を実施しました。校舎が渡り廊下でつながっているという必然性からの活動です。小学校児童と中学校生徒が一緒になって行うわけですが、それぞれ別々に実施するより大変なことがいくつかあります。まず9学年同時の行動となり人数が増えます。そして小中教職員の連携体制の構築も必要となります。

そこで、次のような重点事項を設定して、消防署予防課職員の指導を受けながら実施しました。

(1) 生徒が放送や指示を正しく聞き取り、自ら率先して非難する。

(2) 災害時における職員の任務等を理解し、実際に行動できるようにする。

(3) 中学生は小学生を気づかい、小学生は中学生の行動を見て、互いに安全かつ迅速に避難する。

特に(3)は普通の学校では見られないねらいです。実際の訓練では、中学校校舎のランチルームから出火という想定で、避難訓練が開始されました。小学校の校舎に移動し、中央の階段から降りて小学校の多目的ルームに避難しました。消防署の方から、「非常に整然とよくできた」「途中で出会ったら、中学生が待っていてくれた」とお褒めの言葉をいただきました。小中一貫教育を進めるうえで、今後このような活動が色々な場面で必要になってくると考えられます。



■『まつのやま学園スタート準備』

平成29年4月にスタートする「まつのやま学園」にむけて、今、教育課程等の検討や環境整備の最終段階に入っています。

- 3月の前半に、小中の職員で新年度の教育課程編成をしていきます。
- 現在工事中の小学校の職員室が3月20日頃完成する予定です。
- 3月30日から、小・中学校の教職員が1つの職員室で勤務を開始します。

-
- | | | |
|-----------------|---------------------|-------------------|
| 3月6日(月) | 小中一貫準備会議 | 学びづくり検討会 |
| 3月7日(火) | 小中一貫準備会議 | 自治活動、特別支援教育検討会 |
| 3月8日(水) | 小中一貫準備会議 | 部活動・課外活動、体力づくり検討会 |
| 3月9日(木) | 小中一貫準備会議 | 生徒・生活指導の大綱検討会 |
| 3月10日(金) | 小中一貫準備会議 | 保健関係、弁当の日検討会 |
| 3月27日(月)～29日(水) | 中学校の旧校舎から新校舎への引越し作業 | 小学校職員室引越し作業 |

■第3回十日町市小中一貫教育連絡協議会

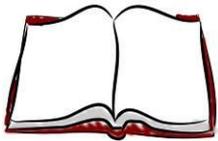
2月15日(水)「第3回十日町市小中一貫教育連絡協議会」を実施しました。学校職員、保護者の代表、地域住民の代表、教育委員会事務局併せて22人の会議でした。

第2次十日町市総合計画前期基本計画(h28～32)の中での現状の分析「不登校児童生徒の状況」「学力の向上」「特別支援学級児童生徒の推移」「平成25年度～28年度を取組評価案アンケートの肯定評価推移」、「各中学校区の主な取組とその成果」などの小中一貫教育3年間の総括をしました。その上で平成29年度十日町市小中一貫教育実施計画(素案)を提示し協議検討して、連絡協議会の委員の皆様から多様な視点でのご意見をお伺いしました。

これらを基に、本年3月に第4回連絡協議会を行い、最終的に平成29年度の小中一貫教育実施計画をお示ししたいと考えています。



■中学校区の取組（2月～3月）

中学校区名	平成29年2月の予定	平成29年3月の予定
拡大中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校入学説明会 ・ 十日町中 2月 21 日（火） ・ 中条中 2月 22 日（水） ・ 中学校についての説明 ・ インターネットやSNS等の利用についての講演（講師；十日町警察署生活安全課） 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新入生小中引継会 ・ 3月 8 日（水）十日町中—十日町小 ・ 中条中—中条小 ・ 中条中—飛一小 ・ 3月 9 日（木）十日町中—東小 ・ 中条中—東小
南 中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月 28 日（火）コーディネーター会議 	<ul style="list-style-type: none"> □ 3月 10 日（金）南中学区小中連絡会 □ 3月 13 日（月）学区教育推進会議 □ 3月中旬 英語出前授業（川治、西）中学校英語教員が各小学校へ □ 3月中 学区一貫だよりの発行
吉田中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月 4 日（土）小学校親善スキー大会で中学生が前走に努めました。 ■ 2月 12 日（日）市民スキー大会で小中が交流しました。 ■ 2月 26 日（日）吉田地区民スキー大会で小・中・地域との交流を深めました。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 3月 16 日（木）新入生引継会 児童；入学の心構え、入学式指導 担任；引継連絡会
下条中学校区  <p>【合同避難訓練】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月 12 日（日）市民スキー大会に小中合同で参加 ■ 2月 15 日（水）小中合同避難訓練 ■ 2月 16 日（木）～17 日（金）十日町雪まつり雪像づくり（みよし園田舎広場） ■ 2月 18 日（土）雪まつりステージ小中合同演奏会（田舎広場） ■ 毎週土曜日、中学校スキー部と小学校特設スキー部の共同練習を実施 	<ul style="list-style-type: none"> □ 3月 9 日（木）中学校体験入学 中学校教科書模擬授業 □ 3月 9 日（木）園小中代表者連絡会 □ 3月 15 日（水）新入学小中引継会
水沢中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月 15 日（水）水沢中学校区校長部会 来年度の小中一貫教育の方針について検討 	<ul style="list-style-type: none"> □ 3月 14 日（火）水沢地区教頭・教務主任合同会 来年度の小中一貫教育の具体的な取組について確認、検討
川西中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月 7 日（火）～14 日（火）家庭学習強調週間 中学校テスト期間に合わせた学習習慣の形成 ■ 2月 7 日（火）小中一貫拡大推進会議 ・ 今年度の振り返りと来年度の計画（会場川西中） ■ 2月 8 日（水）体の育成部会（会場千手小） ■ 2月中旬 特別支援部会 引継等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> □ 特記条項なし 
中里中学校区  <p>【田沢倉俣交流学習】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月 1 日（水）中里地区校長会企画委員会 ■ 2月 7 日（火）中里地区計画訪問 ■ 2月 9 日（木）倉俣小・田沢小全校交流学習 倉俣小と田沢小の統合を控え、最後の交流学習を終日全学年で実施しました。 ■ 2月 中里地区小中一貫教育だより第3号発行 	<ul style="list-style-type: none"> □ 3月 2 日（木）倉俣小PTA懇談会 田沢小より教頭事務職員が参加し、学校説明を実施 □ 3月 14 日（火）地区校長・教頭会 □ 3月 17 日（金）中里地区小中一貫教育だより第4号発行

<p>松代中学校区</p>  <p>【体験入学】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月5日(日) 松之山スキー大会 小・中学校の児童生徒が、アルペン競技及びクロスカントリー協議に参加 ■ 2月8日(水) 第2回体験入学及び入学説明会 ・校長講話、生徒会による学校紹介 ・中1・2との交流活動；新生徒会役員の2年生がゲームやレクリエーションなどを企画。中学1年生がグループ毎に交流しながら校舎内を案内 	<ul style="list-style-type: none"> □ 3月2日(木) 松代中学校区小中一貫教育だより発行 □ 3月7日(火) 小中一貫教育コーディネーター連絡会 □ 3月9日(木) 松代小中引継連絡会 □ 3月14日(火) 地区校長・教頭会
<p>松之山中学校区</p>  <p>【入学オリエンテーション】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月1日(水) 中学校入学オリエンテーション ■ 2月5日(日) 松之山スキー大会 小中学校全児童生徒が選手及び役員として参加 ■ 2月10日(金)～14日(火) 家庭学習強調週間 ■ 2月16日(木) 小中一貫準備会議 各担当毎に次年度計画の立案 ■ 2月21日(火) 子育てグループワーク(最終) 	<p>※再掲(p5と同じ)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 小中一貫準備会議(検討会) <ul style="list-style-type: none"> ・6日；学びづくり ・7日；自治活動、特別支援教育 ・8日；部活動、課外活動、体づくり ・9日；生活・生徒指導の大綱 ・10日；保健関係 □ 3月27日(月)～29日(水) 中学校校舎移転、小学校教務室移転 □ 3月30日(木) 新校舎で小中職員が一緒に勤務開始

その他関連する予定

- 2月～3月 小中一貫教育中学校区統括コーディネーター連絡会
- 3月 第4回 小中一貫教育連絡協議会